

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 2 部門第 5 区分  
 【発行日】平成 23 年 10 月 20 日 (2011.10.20)

【公表番号】特表 2011-524837 (P2011-524837A)  
 【公表日】平成 23 年 9 月 8 日 (2011.9.8)  
 【年通号数】公開・登録公報 2011-036  
 【出願番号】特願 2011-514206 (P2011-514206)  
 【国際特許分類】

**B 6 0 C 11/04 (2006.01)**

**B 6 0 C 11/03 (2006.01)**

**B 6 0 C 11/13 (2006.01)**

【F I】

B 6 0 C 11/04 F

B 6 0 C 11/03 Z

B 6 0 C 11/04 H

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 6 月 20 日 (2011.6.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

赤道面 (X - X) の両側に対称に配置された領域 (L) において、タイヤの円周の伸張方向に繰り返し反復された第 1 のモジュール (14) を含むトレッドパターンを有するトレッドバンド (8) を含む自動車用タイヤ (100) であって、前記 第 1 のモジュール (14) が：

前記赤道面 (X - X) に対して向かいあって配置されるように傾斜した少なくとも 2 つの第 1 の縦溝 (18、19) と；

少なくとも 1 つのブロック (50) を画定するように前記 2 つの縦溝 (18、19) と交差するように設計された少なくとも 2 つのほぼ横方向の溝 (15、16) とを含み；

前記領域 (L) が、前記トレッドバンド (8) の幅の 20% ~ 65% の軸方向幅および少なくとも 0.20 に等しい固体 / 空隙比を有し；

前記トレッドパターンが、周方向において前記モジュールの少なくとも 1 つの端部を画定する、前記トレッドバンド (8) の幅全体にわたって延在する少なくとも 1 つのほぼ横方向の連続部分 (51) も有するタイヤ (100)。

【請求項 2】

前記モジュール (14) が、前記第 1 の縦溝 (18、19) とともにさらなるブロック (50) を画定するさらなる横溝 (17) を含む、請求項 1 に記載のタイヤ (100)。

【請求項 3】

前記横溝 (15、16、17) が折れ線に沿って配置される、請求項 1 または 2 に記載のタイヤ (100)。

【請求項 4】

前記横溝 (15、16、17) が、前記トレッドバンドの幅の少なくとも 50% にわたって軸方向に延在する、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載のタイヤ (100)。

【請求項 5】

前記横溝 (15、16、17) の少なくとも 1 つが、前記 2 つの縦溝 (18、19) 間

に頂点(29)を形成するように折れ線に沿って配置される、請求項1~4のいずれか一項に記載のタイヤ(100)。

【請求項6】

前記横溝(15、16、17)が、前記2つの縦溝(18、19)間に各頂点(29)を形成するように折れ線に沿って配置される、請求項1~5のいずれか一項に記載のタイヤ(100)。

【請求項7】

前記頂点(29)が全て、赤道面X-Xに対して、軸方向に同じ向きに間隔を空けて配置される、請求項6に記載のタイヤ(100)。

【請求項8】

前記頂点(29)が全て、周方向に同じ向きに向けられる、請求項6に記載のタイヤ(100)。

【請求項9】

同じモジュール(14)の前記頂点(29)が、赤道面(X-X)に対して、周方向に連続した幾何学形状のモジュール(14)の前記頂点(29)に軸方向反対側に位置する、請求項5、6、8のいずれか一項に記載のタイヤ(100)。

【請求項10】

前記横溝(15、16、17)が、前記トレッドバンドの前記軸方向外側縁部に向かって広くなるように、その伸張に沿って可変の幅を有する、請求項1~9のいずれか一項に記載のタイヤ(100)。

【請求項11】

各縦溝(18、19)が、前記タイヤの周方向の伸張の少なくとも5%に等しい縦方向の伸張を有する、請求項1~10のいずれか一項に記載のタイヤ(100)。

【請求項12】

前記2つの第1の縦溝(18、19)が、赤道面X-Xに対して15°以下の傾きを有する、請求項1~11のいずれか一項に記載のタイヤ(100)。

【請求項13】

前記2つの第1の縦溝(18、19)が、赤道面X-Xに対して異なる傾きを有する、請求項12に記載のタイヤ(100)。

【請求項14】

前記2つの第1の縦溝(18、19)の一方が、残りの縦溝を超える縦方向の伸張を有する、請求項1~13のいずれか一項に記載のタイヤ(100)。

【請求項15】

前記第1の縦溝(18、19)の少なくとも一方が、その伸張に沿って可変の幅を有する、請求項1~14のいずれか一項に記載のタイヤ(100)。

【請求項16】

前記モジュール(14)が、前記縦溝に対して軸方向外側であり、かつ赤道面X-Xと前記トレッドバンドの前記軸方向外側縁部との間の中間領域に位置する少なくとも1つの第2のほぼ縦方向の溝(21、22)を含む、請求項1~15のいずれか一項に記載のタイヤ(100)。

【請求項17】

前記第2のほぼ縦方向の溝(21、22)が、赤道面X-Xに対して11°未満の傾きを有する、請求項16に記載のタイヤ(100)。

【請求項18】

各モジュール(14)が、赤道面X-Xに対して、周方向に連続した前記モジュール(14)と対称である、請求項1に記載のタイヤ。

【請求項19】

さらなるほぼ横方向の溝(23)が、前記部分(51)において2つの周方向に連続したモジュール(14)間に設けられる、請求項1に記載のタイヤ。

【請求項20】

前記ほぼ横方向の溝（２３）が、赤道面 X - X から前記トレッドバンドの前記軸方向外側縁部に向かって、赤道面 X - X に対する傾きが増大する３つの部分（３１、３２、３３）を形成するように、折れ線に沿って配置される、請求項 １ ９に記載のタイヤ。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００９４

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００９４】

横溝 １５、１６、１７の赤道面の近くにおける頂点２９は全て、同じ周方向に向けられる。